

当院の大腸癌診療に COVID-19 が与えた影響に関する検討に関する研究

1. 研究の対象

2018年1月-2022年12月までに当院で診断・加療された大腸癌患者

2. 研究目的・方法

COVID-19の流行に伴い感染への不安から医療機関の受診控えが起きていました。その為消化器癌健診でも受診者、発見者共に2割減と報告されています。医療機関として詳細な発見率や早期発見の低下に関しての報告は多くなく、当院での大腸癌診療に与えた影響を検討しました。上記患者さんを対象に各年の診断数、臨床病期、発見経緯、治療内容に関して電子カルテの情報を収集し検討を行いました。

研究期間は病院長許可日から2024年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、受診経緯、病名、大腸癌診断年、臨床病期、部位、治療内容(外科手術または内視鏡治療の有無)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：静岡県磐田市大久保 512-3
磐田市立総合病院 消化器内科 草間大輔
kk1019dd@gmail.com 0538-38-5000 (代)